

事例 9 福井県福井市

～商業施設及び大学への期日前投票所の設置～

- 市の面積 : 536.4 km²
- 市の人口 : 265,904 人 (H27 年国勢調査)
- 選挙人名簿登録者数 : 219,616 人 (H28 参 (選挙時登録))
- 投票所数 : 108 箇所
- 期日前投票所数 : 14 箇所 (公共施設、商業施設、大学)
- 直近選挙の投票率 : 53.18% (H28 参) 38.83% (H27 市長) 48.70% (H27 市議)
46.92% (H27 知事) 46.79% (H27 県議) 47.01% (H26 衆)
- 18、19 歳の投票率 : 18 歳 : 45.09%、19 歳 : 32.10% (H28 参)

取組に至る経緯

選挙権年齢の引き下げを受け、選挙管理委員会では大学への期日前投票所の設置が若者の投票率向上につながると考えた。また、平成27年6月の市議会において、商業施設や大学への期日前投票所の設置について議論があったことも、設置の後押しとなった。

①アピタ福井店、ラブリーパートナーエルパ、ショッピングシティベル、パリオ CiTY、西武福井店への設置

福井市街地内で均衡のとれた配置になるよう、選挙管理委員会において商業施設3箇所（アピタ福井店、ラブリーパートナーエルパ、ショッピングシティベル）を選出した。平成27年7月頃に商業施設3箇所に打診し、3箇所とも了解が得られた。最終的に同年9月に設置が決定し、その後設置場所や設置時間等の具体的な調整を開始、12月の福井市長選挙にて初めて設置した。

その後、新たに商業施設2箇所（パリオ CiTY、西武福井店）から設置の要望を受け、平成28年7月の参議院選挙では合わせて5箇所の商業施設に期日前投票所を設置した。

商業施設としては集客効果が見込まれること、選挙管理委員会としては平成27年の商業施設への期日前投票所の設置が「買い物ついでに気軽に投票できた」「明るい雰囲気投票しやすかった」と利用者から好評だったことが増設につながった。

②福井大学、福井工業大学への設置

平成27年7月から平成28年3月にかけて福井市内の大学4校に打診し、構内が工事中であった2大学を除いて了解が得られた。最終的に平成28年5月に福井大学、福井工業大学への設置が決定し、その後設置場所や設置時間等の具体的な調整を開始、7月の参院選にて初めて設置した。

取組内容

①アピタ福井店、ラブリーパートナーエルパ、ショッピングシティベル、パリオCiTY、西武福井店への設置

今回の参院選における商業施設への期日前投票所の設置状況は、以下のとおりである。

投票所	設置期間	投票時間	備考
アピタ福井店 (2階まなびサイト前)	6月23日(木) ~7月9日(土)	午前9時~ 午後8時	平成27年12月 福井市長選挙 より設置
ラブリーパートナーエルパ (2階エルパホール)		午前10時~ 午後8時	
ショッピングシティベル (1階特設会場)			平成28年7月 参議院選挙 より設置
パリオCiTY (2階専門店街)			
西武福井店 (8階特設会場)		午前10時~ 午後7時30分	

(設置場所及び期間)

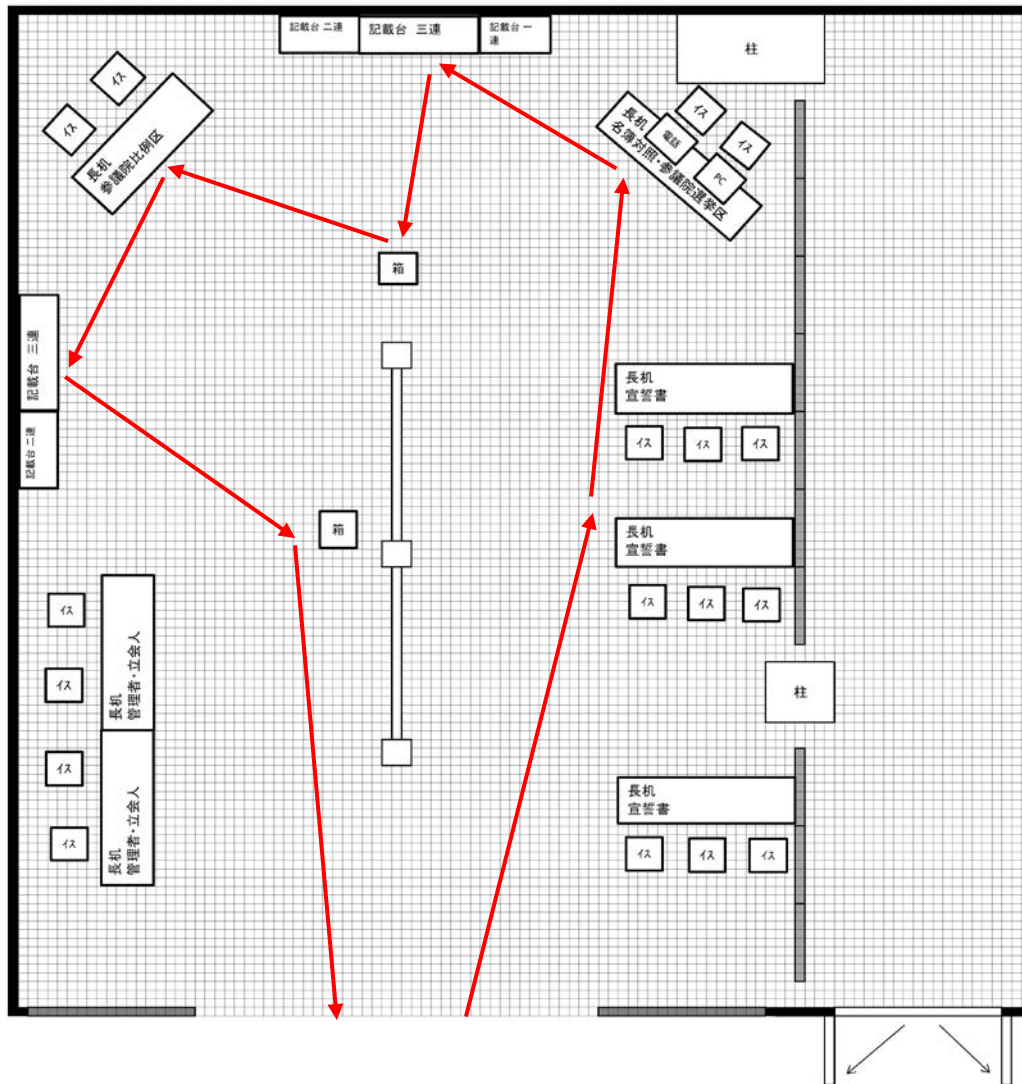
設置場所は商業施設から提案を受け、①人が集まりやすい場所か、②システムを使用するための電源があるか、③広さは十分か、④わかりやすい場所か、⑤駐車場から近いかなどの点を踏まえて決定した。設置期間は、期日前投票期間の全期間、投票時間は各店舗の営業開始時間から午後8時(西武福井店のみ営業終了時間である午後7時30分)までとした。

5箇所のうち、例としてラブリーパートナーエルパの設置場所及びレイアウト図を以下に示す。

【設置場所(ラブリーパートナーエルパ)】 ※HPフロアガイドより作成



【投票所のレイアウト図（ラブリーパートナーエルパ）】



（人員体制）

当日の体制は、投票管理者（1名）、投票立会人（2名）、事務従事者（職員2～3名、民間人2～3名）である。民間人はこれまでの選挙と同様、ファミリーサービスという人材登録所で募集をかけた。

（周知方法）

投票所の周知は、一部商業施設のチラシへの掲載や館内放送での案内、ショッピングシティベルにて福井市明るい選挙推進協議会による啓発物資（冷却シート）を配布しながらの街頭啓発を行った。



啓発物資（冷却シート）

(所要経費)

今回の参院選における商業施設5箇所を合わせた経費は 13,100 千円 (うち人件費 6,851 千円、物件費 6,249 千円) だった。期日前投票所を増設してもシステムの改修を要しなかったため、システム改修等の費用は発生していない。

(単位：千円)

科目	執行額	内容
人件費	6,851	投票管理者等への報酬、職員手当、賃金等
物件費	6,249	設置委託料、施設使用料、需用費、役務費、備品購入費 等
合計	13,100	

②福井大学、福井工業大学への設置

今回の参院選における大学への期日前投票所の設置状況は、以下のとおりである。

投票所	設置期間	投票時間	備考
福井大学文京キャンパス (大学会館共同談話室)	7月6日(水) ~7月8日(金)	午前10時~ 午後6時	平成28年7月 参議院選挙 より設置
福井工業大学福井キャンパス (大学2号館1階学生ロビー)			

(設置場所及び期間)

設置場所は大学から提案を受け、商業施設への設置と同様の条件で選定した。

設置期間は、投票日直前の平日3日間、投票時間は学生が多く集まる午前10時から午後6時までとした。

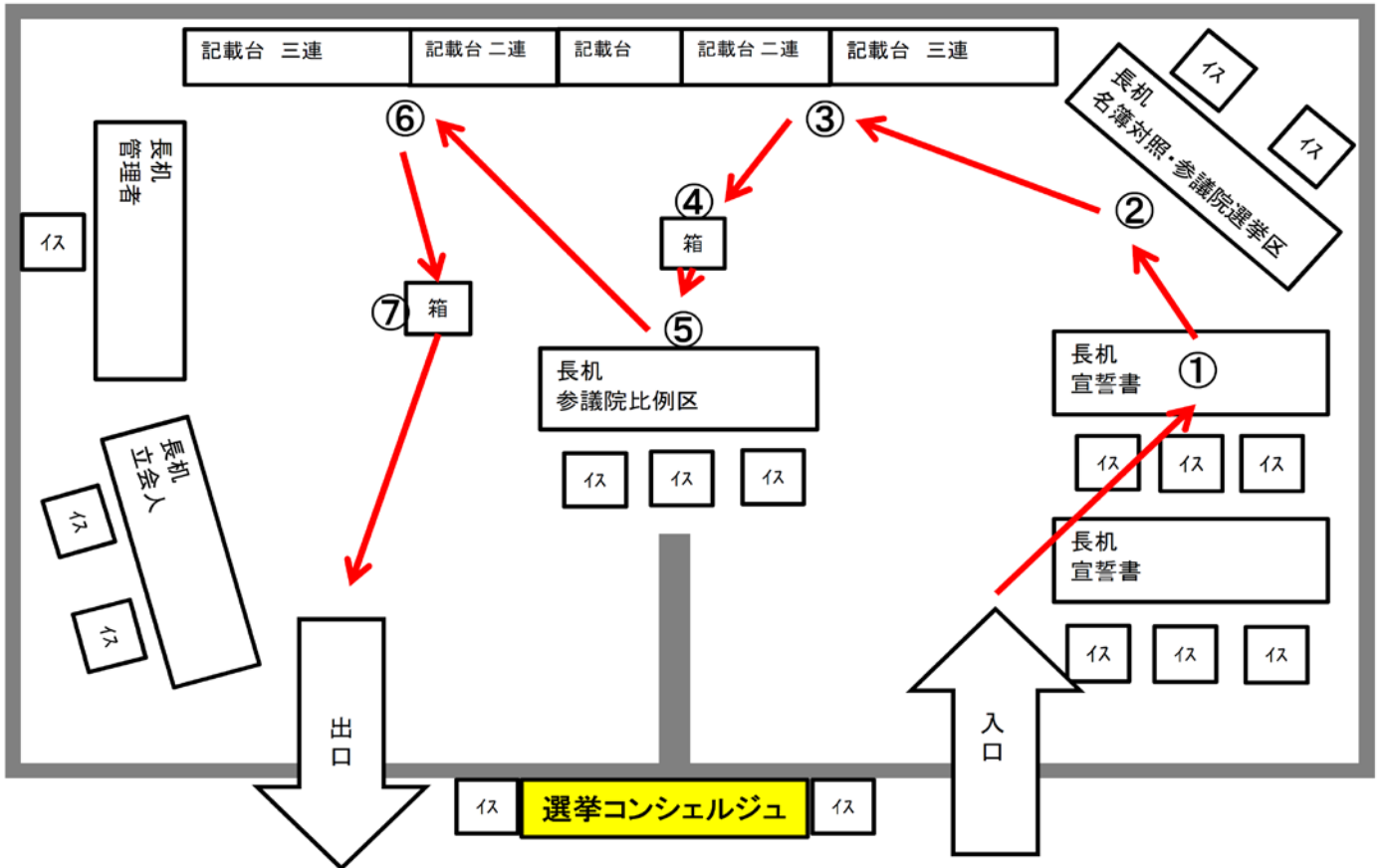
2箇所のうち、例として福井大学の設置場所及びレイアウト図を以下に示す。

【設置場所 (福井大学)】



※福井大学 HP キャンパスマップより作成

【レイアウト図（福井大学）】



（人員体制・周知）

当日の体制は、商業施設と同様である。投票所の周知は、福井大学では、全学生が登録している学内専用のポータルサイトを活用して全学生へ案内メールを送信した。

（所要経費）

今回の参院選における大学2箇所を合わせた経費は 2,472 千円（うち人件費 277 千円、物件費 2,195 千円）だった。期日前投票所を増設してもシステムの改修を要しなかったため、システム改修等の費用は発生していない。

（単位：千円）

科目	執行額	内容
人件費	277	報酬、職員手当等、賃金
物件費	2,195	設置委託料、施設使用料、需用費、役務費、備品購入費 等
合計	2,472	

取組の実績・効果

投票率は、平成25年の参院選より 3.85 ポイント上昇した。また、期日前投票者数も前回に比べ 19,353 人増加しており、商業施設及び大学に期日前投票所を設置した効果があったと考えている。

なお、大学における期日前投票所の利用者のうち約半数が 10～20代であり、若年層の利用が多かった。

(平成25年の参院選との比較)

執行年	投票率	期日前投票者数
平成25年	49.33%	22,796人
平成28年	53.18% (前回比+3.85%)	42,149人 (前回比+19,353人)

(各商業施設及び大学における期日前投票者数)

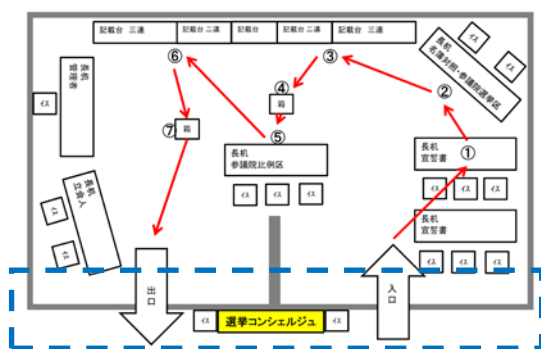
投票所	投票者数	うち10~20代
アピタ福井店	6,153人	517人
ラブリーパートナーエルパ	5,355人	708人
ショッピングシティベル	9,769人	844人
パリオCiTY	3,833人	385人
西武福井店	1,942人	138人
福井大学	245人	123人
福井工業大学	148人	74人

工夫した点

①選挙コンシェルジュの配置

大学への期日前投票所の設置にあたり、初めて投票する18歳・19歳の学生の質問や不安を解消するため、福井市明るい選挙推進協議会委員を選挙コンシェルジュとして期日前投票所に配置し、学生の疑問に応えた。

配置人数は各大学に2人ずつ、配置時間は昼休みで、学生が多いと思われる午前11時から午後1時である。投票所は投票の秘密を守るためパーテーションで囲っており、選挙コンシェルジュはそのパーテーションのドア付近に配置した。



福井大学における選挙コンシェルジュの配置

選挙コンシェルジュには、想定される質問と回答を示したQ&Aを配布した。また、学生は住民票を移していない人も多いため、福井市で投票できない学生からの質問に対応するため、不在者投票の方法を記したチラシも配布した。選挙コンシェルジュの対応件数は各校15件程度の計30件程度であった。今後の選挙においても選挙コンシェルジュを配置する予定である。

②大学構内への入構方法について

福井大学では、通常は一般市民の入構には手続きが必要だが、投票に訪れた人は入場券を提示すれば入構できるようにした。福井工業大学は通常時も手続きは必要ないため、対策は不要だった。はじめの期日前投票所設置の打診時に、一般市民の入構を前提としていたため、大学関係者以外が構内へ入ることに対する問題は生じなかった。

③大学へ投票に訪れた人の駐車方法、料金について

福井大学は、通常の駐車場では100円の駐車料金がかかるため、投票所前のスペースを投票に訪れた人専用の駐車スペースとし、無料にした。福井工業大学は、通常であれば駐車の際に台帳への記入が必要だが、投票に訪れた人は入場券を提示すれば記入不要とした。駐車料金は通常時も無料である。

今後の課題

①準備期間が短い選挙における設置場所の確保

今後の選挙においても、各商業施設及び大学からの協力は得られる予定だが、解散等で急な選挙があった場合は設置場所が確保できるか不透明である。特に商業施設では、空きテナントの場所を利用したところもあり、設置場所の確保が課題となる。

②設置場所のわかりやすい案内

商業施設の出入口には投票所の位置を示す看板を設置していたが、大規模な商業施設においては、どこに投票所があるのか分かりにくいとの意見が市民から寄せられた。そのため、よりわかりやすい場所への設置や案内方法の検討が課題となる。